平成１９年度技術講習会

（関田部長の講義）

経験豊富で知識・技能に優れたベテラン職員がいずれ職を去っていくことが予測され、次代の電気設備業界の中核を担う人材育成が求められている中、基礎知識・技術から最先端技術までニーズに即した講習を行い会員の技術力のアップを図るため計画的に講習会を開催することにしています。

今回はその第一弾として㈳日本電設工業協会の人材確保・育成の補助メニューを活用し、積算業務に焦点を当てた講習とし、また、協会の事業は神戸中心で参加しにくいので県西部で実施して欲しいとの要望に対応するため、初めて姫路での開催となりました。

講習会は平成１９年９月８日（土）午後１時１５分から５時まで姫路市北条の県立労働会館第３会議室で行い、講師は日電協の会員企業である新生テクノス㈱営業本部担当部長の関田正巳氏にお願いしました。

山口技術・安全委員長の挨拶で開会し、関田部長の講義に入りました。講義は「電気設備工事費の積算指針２００６年版」をテキストとして使用し、第１編・積算の基本事項ほか、第２編・直接工事費、共通事項、第３編・労務費、第４編・間接工事費（共通費）積算と続き、最後に講師が用意された別途資料により積算の実例についても説明を受けました。

土曜日の午後にもかかわらず中堅職員や若手中心に３３名の会員企業の職員が参加されていましたが、関田部長は会社内外の研修の実績も豊富で、幅広い内容ではありましたがポイントをついたわかりやすい解説に努めていただき、４時間という長時間の講習にも飽きさせない話術で、参加者は熱心に講義に聞き入っていました。